



2021年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月11日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
 コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石井 峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 渡邊 伸樹 TEL 084-960-1247
 四半期報告書提出予定日 2020年12月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第3四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第3四半期	8,316	8.9	715	113.2	709	182.1	546	336.9
2020年1月期第3四半期	7,634	△12.9	335	△62.5	251	△72.5	125	△82.4

(注) 包括利益 2021年1月期第3四半期 496百万円 (66,217.5%) 2020年1月期第3四半期 0百万円 (△99.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第3四半期	67.01	—
2020年1月期第3四半期	15.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第3四半期	12,437	3,470	27.9
2020年1月期	12,257	3,056	24.9

(参考) 自己資本 2021年1月期第3四半期 3,470百万円 2020年1月期 3,056百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,983	5.9	824	156.6	829	290.3	715	579.7	87.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期3Q	8,176,452株	2020年1月期	8,176,452株
② 期末自己株式数	2021年1月期3Q	23,373株	2020年1月期	23,233株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期3Q	8,153,114株	2020年1月期3Q	8,153,219株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が制限され景気は急速に後退しました。

緊急事態宣言解除後は、段階的な経済活動再開とともに一部の業種では回復の兆しが見られますが本格的な回復には及ばず、新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ見通せない中、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞など、事業活動に影響を受けましたが、中国関連事業では現地経済活動の再開により一部で回復が見られました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は83億16百万円（前年同期比8.9%増）となり、営業利益は7億15百万円（前年同期比113.2%増）、経常利益は7億9百万円（前年同期比182.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億46百万円（前年同期比336.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子機器部品製造装置)

プリント基板分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動縮小を余儀なくされる状況になりましたが、次世代通信規格「5G」の市場拡大に伴い同分野での設備投資が増加したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

液晶関連分野におきましても、中国顧客の操業再開を受けて、インクジェットコーターを計画通り売上計上したことや、消耗品の販売が増加したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は32億8百万円（前年同期比31.4%増）、営業利益は5億55百万円（前年同期比886.7%増）となりました。

(ディスプレイおよび電子部品)

アミューズメント向け部品分野の売上高は、当社得意先の生産増加の影響により、前年同期と比較して増加いたしました。

自動車向け印刷製品についても、新規顧客向けの生産がスタートしたことにより前年同期と比較して売上高が増加いたしました。

工作機械および産業用機械分野については、新型コロナウイルス感染症の影響により顧客の需要が減少したことに加え、営業活動も制約を受け前年同期と比較し売上高が減少いたしました。

連結子会社であるJPN, INC. は、フィリピン国内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い操業制限など事業活動に大きな影響を受け、前年同期に比べ減収減益となりました。連結子会社である上海賽路客電子有限公司については、中国経済の再開に伴う需要の増加から売上高が前年同期を上回ったことや、新型コロナウイルス感染症に対する助成金を受給したことなどから前年同期に比べ増収増益となりました。

その結果、売上高は51億円（前年同期比1.6%減）、営業利益は1億61百万円（前年同期比42.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億80百万円増加の124億37百万円となりました。

流動資産は、69億97百万円となり前連結会計年度末と比べ60百万円増加いたしました。これはたな卸資産が2億96百万円、受取手形及び売掛金が1億58百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が6億11百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、54億40百万円となり前連結会計年度末と比べ1億20百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が1億11百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて2億33百万円減少の89億66百万円となりました。

流動負債は、53億31百万円となり前連結会計年度末と比べ2億67百万円減少いたしました。これは、賞与引当金が90百万円、未払法人税等が52百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が3億80百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、36億35百万円となり前連結会計年度末と比べ33百万円増加いたしました。これは長期借入金が3億9百万円減少しましたが、固定負債その他が3億28百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、34億70百万円となり前連結会計年度末と比べ4億14百万円増加いたしました。これは剰余金の配当を81百万円実施したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億46百万円計上し、利益剰余金が4億64百万円増加したことなどによるものであります。この結果自己資本比率は27.9%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月期の通期業績予想につきましては、業績が概ね予想通りに推移しているため、2020年9月11日に開示しました連結業績予想から変更しておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ見通せない中、今後の感染拡大により、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

今後、当社グループの経営環境や販売動向に急激な変化が生じ、業績予想の見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,630,282	2,241,350
受取手形及び売掛金	2,702,087	2,543,167
商品及び製品	111,920	193,248
仕掛品	1,626,360	1,220,811
原材料及び貯蔵品	607,504	635,645
その他	258,861	165,092
貸倒引当金	△173	△2,167
流動資産合計	6,936,843	6,997,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,317,946	1,227,586
土地	2,170,813	2,155,595
その他（純額）	1,205,229	1,319,189
有形固定資産合計	4,693,989	4,702,371
無形固定資産		
その他	404,221	404,682
無形固定資産合計	404,221	404,682
投資その他の資産		
その他	280,419	391,549
貸倒引当金	△58,215	△58,041
投資その他の資産合計	222,204	333,507
固定資産合計	5,320,416	5,440,562
資産合計	12,257,259	12,437,710
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844,394	1,464,112
短期借入金	1,981,113	1,979,052
1年内返済予定の長期借入金	413,000	400,000
未払法人税等	113,797	166,643
前受金	389,821	411,122
賞与引当金	20,582	111,481
その他	835,980	799,058
流動負債合計	5,598,689	5,331,469
固定負債		
長期借入金	2,776,000	2,467,000
退職給付に係る負債	512,736	526,668
その他	313,281	641,576
固定負債合計	3,602,018	3,635,245
負債合計	9,200,707	8,966,714

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	1,107,799	1,107,799
利益剰余金	2,030,281	2,495,104
自己株式	△20,002	△20,081
株主資本合計	3,418,077	3,882,821
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,351	△5,218
為替換算調整勘定	△371,471	△410,182
退職給付に係る調整累計額	14,296	3,574
その他の包括利益累計額合計	△361,526	△411,826
純資産合計	3,056,551	3,470,995
負債純資産合計	12,257,259	12,437,710

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）
売上高	7,634,845	8,316,568
売上原価	5,732,332	6,100,547
売上総利益	1,902,512	2,216,020
販売費及び一般管理費	1,566,930	1,500,491
営業利益	335,581	715,529
営業外収益		
受取利息	3,879	7,237
受取配当金	367	331
為替差益	16,732	—
受取賃貸料	22,322	16,880
助成金収入	5,642	60,493
その他	8,411	7,127
営業外収益合計	57,356	92,069
営業外費用		
支払利息	40,515	42,865
シンジケートローン手数料	62,040	—
為替差損	—	15,185
減価償却費	29,252	23,029
その他	9,582	16,853
営業外費用合計	141,390	97,934
経常利益	251,546	709,664
特別利益		
固定資産売却益	2,662	2,827
投資有価証券売却益	—	2,044
特別利益合計	2,662	4,871
特別損失		
固定資産売却損	598	318
固定資産除却損	9,038	36
特別損失合計	9,637	354
税金等調整前四半期純利益	244,571	714,182
法人税等	115,662	167,826
四半期純利益	128,909	546,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,842	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,066	546,355

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益	128,909	546,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,574	△866
為替換算調整勘定	△139,877	△38,710
退職給付に係る調整額	17,290	△10,722
その他の包括利益合計	△128,161	△50,300
四半期包括利益	748	496,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△461	496,055
非支配株主に係る四半期包括利益	1,209	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループの在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。本会計基準の適用により、借手のリース取引については、原則、使用権資産およびリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しております。

本会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における有形固定資産その他が125,324千円、流動負債その他が1,688千円、固定負債その他が137,427千円増加しております。なお、四半期連結損益計算書に与える影響額は軽微であります。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の移動制限に伴う営業活動の停滞、客先における設備投資延期など、事業活動に影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の終息時期については、当初想定していた2021年1月期中より遅れるものの、2022年1月期には経済状況は改善に向かうと仮定し、会計上の見積り（固定資産の減損等）を行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年2月1日 至 2019年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,441,946	5,184,523	7,626,469	8,375	7,634,845	—	7,634,845
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,441,946	5,184,523	7,626,469	8,375	7,634,845	—	7,634,845
セグメント利益	56,259	279,228	335,488	93	335,581	—	335,581

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年2月1日 至 2020年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イおよび電 子部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,208,941	5,100,440	8,309,382	7,186	8,316,568	—	8,316,568
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,208,941	5,100,440	8,309,382	7,186	8,316,568	—	8,316,568
セグメント利益又は損失 (△)	555,120	161,737	716,858	△1,329	715,529	—	715,529

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。